

— 業務予定 —

- 弘前演習場整備
(7月5日~16日)
- 新隊員教育射撃
(8月18日~23日)
- 重迫撃砲中隊・情報小隊検閲
(8月26日~9月4日)



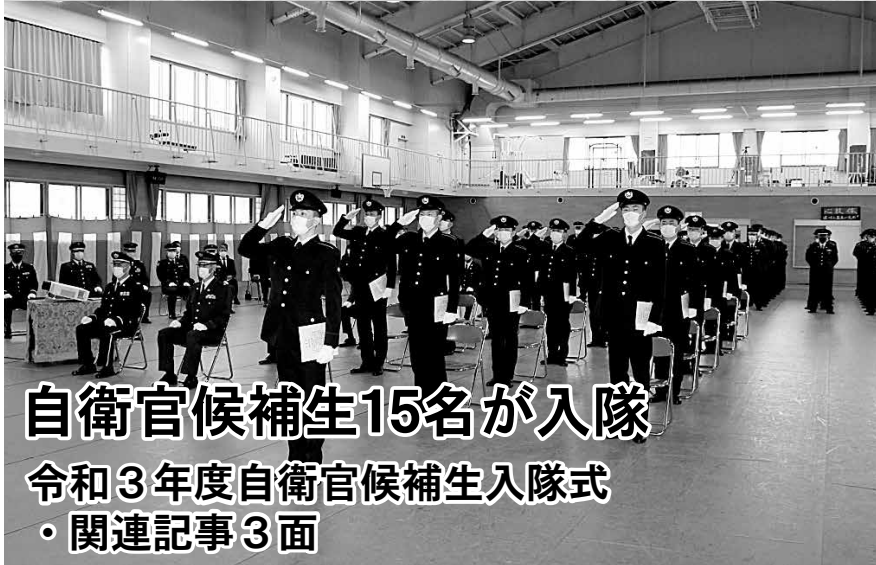
発行

弘前市防衛協会
事務局:弘前商工会議所内
住所 弘前市上鞆師町18-1
電話 33-4111(代)

印刷 小野印刷
弘前市富田町52
電話 32-7471

弘前駐屯地創立53周年記念日行事

・関連記事 2面



自衛官候補生15名が入隊
令和3年度自衛官候補生入隊式
・関連記事3面



今年度最初の射撃野営
令和3年度第1次連隊射撃野営
・関連記事4面



岩木山に、春をもたらす
令和3年度岩木山観光復興協力
・関連記事5面



弘前駐屯地 自候生特集!!
・関連記事6面

弘前駐屯地創立53周年記念日行事



記念式典の様子



訓練展示



受付の際、検温と消毒を実施



天内司令式辞



観閲行進の様子



第9音楽隊演奏



チビツ子広場の様子



展示されている戦車も大人気

弘前駐屯地（司令・天内一佐）は四月十八日、駐屯地創立五十三周年記念日行事を挙行了した。記念日当日は生憎の天候で更に今年はコロナ禍ということもあり入場制限の中ではあったが、約五百五十人の招待者、市民が駐屯地を訪れた。

記念式典では、観閲部隊指揮官第九偵察隊長・久下谷二佐の指揮する約三百名の隊員を前に、天内司令は「郷土を守ることが国防の基本であるとの認識のもと、地域の皆様との絆をより一層強固にしつつ、訓練精進にして、規律厳正、団結強固、士気旺盛に裏打ちされた『健全で精強な郷土愛溢れる駐屯地』として日々精進していくことを改めて諸官とともに誓う」と式辞し、櫻田宏弘前市長、木村次郎衆議院議員、田名部匡代参議院議員が来賓祝辞を述べた。事後、観閲行進を行い、第九音楽隊の演奏の中、隊員約三百名、車両三十五両の堂々たる行進に大勢の観客から大きな拍手が送られた。

記念式典の後、第九音楽隊によるすばらしい演奏や、第二中隊を基幹とした増強部隊による迫力満点の訓練展示が行われ、目の前で繰り広げられた戦闘シーンや、火砲の空包射撃に歓声が沸きあがった。

この他にも雪上車の体験試乗の他、チビツ子広場、装備品展示などのコーナーも設けられ、コロナ禍ではあったが多くの市民と信頼と理解を深める記念行事となった。

新・車検システム導入

車検が60分でOK!
ずばり **9,800円**

整備保証付

要予約

- お客様が来社して自分のお車を確認しながら行います。
- ご利用されます方は予約が必要です。電話受付しますと係員がお伺いします。

*5ナンバーサイズの2000ccまで

(株)東海自動車工業

弘前市神田1丁目5-4 TEL.0172-33-7700(代)

【自衛官採用案内】 お問い合わせは、自衛隊青森地方協力本部弘前地域事務所 TEL 27-3871まで

試験日程			
募集種目	資格	受付期間	試験日(試験会場)
航空学生	高卒(見込含) 海:18歳以上23歳未満 空:18歳以上21歳未満	7月1日~9月9日	9月20日(月)(弘前医療福祉大学)
一般曹候補生	18歳以上33歳未満	7月1日~9月6日	9月18日(土)(弘前医療福祉大学)
自衛官候補生(男子)	18歳以上33歳未満	~9月6日	9月25(土)・26日(日)(弘前駐屯地)
自衛官候補生(女子)	18歳以上33歳未満	~9月6日	10月1日(金)(青森駐屯地)

自衛官候補生15名が入隊 令和3年度自衛官候補生入隊式



厳粛な中に行われた入隊式



力強く宣誓を行う須藤自候生



募集担当の広報官と共に着隊

第三十九普通科連隊（連隊長・天内一佐）は四月四日、駐屯地体育館において自衛官候補生十五名の入隊式を行った。

式は、御父兄、ご来賓及び先輩隊員らが参列する中、候補生を代表して岩崎夢飛自候生が申告を行い、須藤世羅自候生が「自衛官として必要な知識及び技能の修得に励むことを誓います。」と力強く宣誓した。

これを受け天内連隊長は「目標をもって全力で取り組み」「同期との絆を深めよ」「常に感謝の気持ちを忘れない」の三点を要望事項とし、「三ヶ月後、参列した先輩隊員と肩を並べるくらい立派に成長することを期待する。」と式辞し、この後、櫻田宏弘前市長よりビデオレターでの祝辞を頂いた。

式に参列した父兄等は約四日ぶりにみる自候生の決意を秘めた眼差しと、凛々しい制服姿に目を細めていた。

第三十九普通科連隊（連隊長・天内一佐）は四月四日、駐屯地体育館において自衛官候補生十五名の入隊式を行った。

式は、御父兄、ご来賓及び先輩隊員らが参列する中、候補生を代表して岩崎夢飛自候生が申告を行い、須藤世羅自候生が「自衛官として必要な知識及び技能の修得に励むことを誓います。」と力強く宣誓した。

これを受け天内連隊長は「目標をもって全力で取り組み」「同期との絆を深めよ」「常に感謝の気持ちを忘れない」の三点を要望事項とし、「三ヶ月後、参列した先輩隊員と肩を並べるくらい立派に成長することを期待する。」と式辞し、この後、櫻田宏弘前市長よりビデオレターでの祝辞を頂いた。

式に参列した父兄等は約四日ぶりにみる自候生の決意を秘めた眼差しと、凛々しい制服姿に目を細めていた。



身辺整理をする入隊予定者



弘前駐屯地食堂にて初めての食事



約4日ぶりに父兄等に凛々しい姿を見せる



式辞を述べる天内連隊長



櫻田宏弘前市長からのビデオレター



力強く銃を受け取る自候生



JEWELRY KAMATA

www.j-kamata.com

弘前本店 / 弘前市宮川2-1-11 TEL : 0172 (32) 3730

夢・人・街……



株式会社 アート不動産

代表取締役 花澤睦子

〒036-8203 青森県弘前市本町34番地1
TEL 0172-31-8131 FAX 0172-31-8228
http://art-fudosan.jp/

(公社)青森県宅建物取引業協会会員
不動産ネットワークサービス会員店
日本共済株式会社代理店



JUIDA認定 青森県ドローンスクール

会場：弘前モータースクール他

ライセンス取得
ドローン体験
法令セミナー
出張イベント

空撮
各種講習会
機体販売

ドローンのことなんでも
お問い合わせください

TEL 0172-28-2727

青森ドローンスクール

検索

今年度最初の連隊射撃野営！！

令和3年度連隊第1次射撃野営



01式軽対戦車誘導弾の射撃

第三十九普通科連隊（連隊長・天内一佐）は四月六日から十日までの間、約四百名の隊員が参加し令和三年度連隊第一次射撃野営訓練を岩手山演習場にて実施した。

本訓練は、爆破・射撃練度の維持・向上を図ることを目的に行われた。実施した課目は70式地雷原爆破装置、指向性散弾、爆破、狙撃銃、12・7ミリ重機関銃、個人携帯対戦車弾、06式小銃てき弾、01式軽対戦車誘導弾、81ミリ迫撃砲及び120ミリ迫撃砲である。

当日は比較的恵まれた天候であったため、隊員は各種爆破・射撃訓練に専念することができた。今年度は冬季連隊検閲が予定されており、隊員にとって更なる練度向上に繋がった。



指向性散弾を設置する隊員



狙撃銃の射撃



個人携帯対戦車弾発射




半装填を行う隊員



重機関銃の射撃



70式地雷原爆破装置の発射

 祖国と郷土の平和繁栄の守護神
弘前公園四の丸鎮座

青森縣護國神社

宮司 齋藤 毅

社務所 青森県弘前市大字下白銀町1-3 TEL (0172)32-0033

弘前 アパート・マンション 7,500件以上! 八戸 五所川原

青森県内4店舗のネットワークで
売買物件・賃貸物件をお探しします。



 株式会社 太陽地所

県知事免許(11)1708号 東北地区不動産公正取引協議会加盟事業者 (公社)青森県宅地建物取引業協会会員
〒036-8004 弘前市大字大町3丁目1-2 TEL0172(33)4445 FAX0172(33)4519
http://www.taiyojisho.jp/ E-mail spg@taiyojisho.jp



PARK
HIROSAKI PARK HOTEL

弘前パークホテル
〒036-8182 弘前市土手町126
TEL 0172-31-0089
E-mail h-park@imgnjp.com

令和三年度 第一回部隊火器射撃訓練

第九偵察隊（隊長・久下谷二佐）は、令和三年六月七日から十一日の間、岩手山演習場にて第九偵察隊第一偵察小隊長・小森一尉以下四十八名が参加した令和三年度第一回部隊火器射撃訓練を実施した。目的は、各個の射撃練度を評価・判定するとともに、射撃技術の向上を目的に実施した。課目は、5・56ミリ機関銃MINIMI、7・62ミリ車載機関銃（縮射）。

当日は比較的恵まれた天候であったため、隊員は射撃訓練に専念することができた。

七月には実弾射撃が予定されており、隊員にとつて更なる練度向上に繋がった。



車載機関銃射撃の様子



機関銃射撃

第一回 中隊練成訓練実施

第三普通科直接支援中隊（中隊長・阿部三佐）は、令和三年六月十六日から十八日までの間、第一回中隊練成訓練を実施した。

中隊は、展開地への移動及び展開、展開地及び車両行進間の警戒自衛戦闘を演練して中隊の練度向上を図る事を目的に実施した。

各隊員は、展開地の安全化要領や捕虜の取り扱い要領を演練し、練度向上に繋がった。



捕虜の取り扱いの様子



展開地の安全化の様子

岩木山に、春をもたらす 令和三年度岩木山観光復興協力

弘前駐屯地（司令・天内一佐）は四月二十日、岩木山除雪における観光振興協力を実施した。この協力は弘前市と締結した「岩木山除雪の協力に関する協定」に基づき、毎年五月の連休前に地域貢献の一環として行われるものである。

当日は、隊員三百二十名をもって岩木山八合目から九合目のリフト沿い約五百メートルの区間を除雪した。昨年ほどではないが今年も風が強く時折晴れ間も見えたが、濃霧の中での作業となった。また、積雪量は例年よりは少なく、順調に作業が進んだ。隊員はスコップとスノーダンプを用いて懸命に除雪を続け、最終的にリフト区間約五百メートル、最大で約一メートルの高さまで積もった雪を除雪して作業を終了した。



作業場へ前進



スコップとスノーダンプで協力し雪を排泄



濃霧の中、除雪する隊員



天内駐屯地司令視察

いつも、あなたのそばに

陸奥新報

見える安心 聴こえる幸せ

メガネフラワー

弘前自衛隊指定店 割引特典あり

- 深視力検査器完備
- 充電式補聴器も試聴可

弘前店 市立病院横 上土手町通り ☎ 36-6189
 浪岡店 青森銀行 浪岡支店近く ☎ 62-8598

ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー
 6年連続受賞(特別優秀賞4年連続)



eco住研のりさき FPの家 株式会社 長内建築事務所
 〒036-8142 青森県弘前市松原西三丁目5-5
 ☎ 0172-87-4321 URL http://fp-4sun.jp/





10キロ口行進



空砲射撃



催涙ガス体験



戦闘訓練



体力検定



斥候・歩哨訓練



25キロ口行進



修了式



記念写真

弘前駐屯地 自衛生特集!!



脚立を用いて、一つ一つ丁寧に摘花

弘前駐屯地曹友会（曹友会長・長浜准尉）は五月十七日から十九日までの間、駐屯地周辺のりんご園で援農ボランティアを実施した。

この援農ボランティアは、弘前駐屯地が開庁した翌年の一九六九年から実施。平素より駐屯地周辺地域を持続走、行進訓練並びにスキー訓練等のコースとして活用させていただいている農家の方々に対し、基幹産業であるりんご栽培の摘花作業を通じて地域住民の一助となることを目的とする。今年度は、駐屯地隊員延べ百二十八名がボランティアに参加し、十軒の農家の方々の下でこの摘花作業を実施した。

隊員達は、時折照りつける日差しの下で農家の方々からの指導を受けながら慎重に、黙々と摘花作業に励んだ。また、休憩・昼食時には農家の方々の苦労話やりんごの話・自衛隊の話などを通じて互いに交流を深めていた。援農ボランティアには駐屯地司令、業務隊長、第九偵察隊長、駐屯地最優先上級曹長、第三十九普通科連隊副連隊長、本部管理中隊長、重迫撃砲中隊長、会計契約班長も参加し、駐屯地の伝統を体験した。

地域住民との絆を深める 曹友会援農ボランティア



脚立を用いて高い所も抜かりなく摘花

定年退官者の紹介（四月〜六月）

永年の勤務、お疲れ様でした。

■本部管理中隊

三等陸尉 浜中 博幸
陸曹長 齋藤 直敏

■業務隊

三等陸尉 飯村 昌人
一等陸曹 木村 春幸
一等陸曹 今 秀幸

■第一中隊

准陸尉 工藤 明佳

■第九偵察隊

陸曹長 工藤 弘英
陸曹長 小金淵則之
陸曹長 相馬 明

■第二中隊

三等陸尉 齋藤 伸

■第三中隊

陸曹長 古山 穰

■第380会計隊

弘前派遣隊
陸曹長 古川 貴広